

仕 様 書

1 入札番号 総病管第 62-25 号

2 器械の名称及び数量 除細動器 3 式

3 機器の構成

1. 機器の構成(1 式の構成)

1-1	除細動器	1 台
1-2	波形再生ソフト	1 式
1-3	付属品	1 式
1-4	取扱説明書	1 式

2. 構成品の仕様

- 2-1 除細動器本体は以下の要件を満たすこと
 - 2-1-1 本体寸法：W313×D242×H340mm 以内
 - 2-1-2 本体質量：約 7kg 以下
 - 2-1-3 ショックエネルギーは最大 200J 以上の出力が可能であること
 - 2-1-4 AC のみ使用のときも、バッテリー使用のときも最大出力エネルギーまで 5 秒以内に充電が完了すること（新品満充電バッテリー使用時）
 - 2-1-5 AC のみ使用のときも、バッテリー使用のときも成人の推奨出力エネルギーまで 4 秒以内に充電が完了すること（新品満充電バッテリー使用時）
 - 2-1-6 通電後 3 秒前後で心電図が基線復帰し、すぐに効果の確認ができること
 - 2-1-7 外用パドルのほか、使い捨てパドル(ME 用品)、内用パドルも使用できること
 - 2-1-8 内用パドルのサイズは直径～75mm まで 4 種類以上のサイズがあること
 - 2-1-9 通電時の実際の電極/皮膚間抵抗値を測定できること (TTR 計測)
 - 2-1-10 マニュアルモードの操作が 3 アクションであること
 - 2-1-11 AED 部(使い捨てパドル(ME 用品)使用時)は以下の機能を有していること
 - ・除細動が必要な波形を検出でき、音声と画面メッセージで知らせること
 - ・除細動が必要な波形が検出されるとエネルギーが自動充電されること（設定による・解析と同時に充電開始）
 - ・小児 AED モードを有していること
 - ・AED の出力設定を院内などのデジタルコントロールに合わせて初期設定が可能なこと
 - 2-1-12 心電図波形はカスケード表示が可能であること
 - 2-1-13 画面の掃引速度を選択できること

- 2-1-14 経皮ペースング機能が内蔵されていること
- 2-1-15 同一のパドルで除細動とペースングがおこなえること
- 2-1-16 ペースング部の出力電流値は5mA以下の刻みで可変が可能であること
- 2-1-17 アラームは、重要度に応じて3段階にて通知する機能を有すること
- 2-1-18 内部メモリにイベントリストやウォー等が保存可能であること
- 2-1-19 内部メモリに記憶された波形データは外部記憶媒体に保存できること
再生専用ソフトを用意すること
- 2-1-20 心拍数のトレンドグラフが記録できること
- 2-1-21 イベントリスト(時刻と装置の使用状況)を時系列にイベントレポート記録できること
- 2-1-22トレンドは8時間分以上保存可能であること
- 2-1-23 1分単位の計測値がリストとして装置内部に保存し、表示印刷ができること
- 2-1-24 安全性・信頼性は以下の機能を有すること
 - ・ステータスインジケータで毎日のセルフチェック結果が一目で確認できること
 - ・治具を使用することなく本体で放電テストができること
 - ・簡易動作チェックの結果をプリントアウトおよび外部記憶媒体に保存できること
 - ・除細動器本体のみで、放電テスト・バッテリー残量・経皮ペースングのチェックなどができる簡単動作チェックができること
 - ・装置のエラーの発生や簡易動作チェックの実行などの装置履歴を内部メモリへ記憶できること
 - ・装置の操作履歴を内部メモリ及び外部記憶媒体に保存できること
 - ・耐震性、防滴性を備えていること
- 2-1-25 専用架台があること
- 2-2 取扱説明書は以下の要件を満たすこと
- 2-2-1 納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること

4 その他

- (1) 搬入設置、撤去、運転調整（オンライン接続等含む）及び諸手続き一式を含む。
- (2) 機器は、本院の望む方法で本院の望む時期・場所に設置し、機器の設置に伴う設備工事費一式（二次側）を含む。
- (3) 本仕様書に明記されていない事項であっても、本装置の運用上必要な事項は怠りなく装備あるいは施工し、疑義については本院と協議し、その指示に従うこと。
- (4) 主要諸元はメーカーの仕様による。
- (5) 接続する電源系統の地絡の影響や、雷及び開閉サージ等の影響を受けない設備（器具）とするか、受けないよう保護設備を設けた設備（器具）とすること。
- (6) 電気容量、入力電圧、漏電対策について病院と事前に相談して必要な措置を講ずること。

(7) 養生は受注者負担とする。

5 搬入場所及び保守体制

(1) 搬入場所

静岡県立総合病院先端医学棟手術室

(2) 保守体制

本院から要請のあった場合は、迅速な保守サービスができる体制であること。

納入後翌年度末までは、機器が正常に稼働するために必要な保守・点検（定期交換部品代含む）を無償ですること。

機器の部品は準備し、適正な価格で供給すること。